

事務局 三和公民館 八六一二〇四



十二月八日(金)に三和小学校六年生二十二人が、地元三和町で先端技術の研究開発などを行っている「ながとイノベーションセンター」の皆さんを講師に迎え、ドローンについて学習しました。

教室で基本的事項を学んだ後、体育館でリモコンによる操縦やパソコンでのプログラミングによる自動操縦を体験しました。試行錯誤を繰り返しましたが、次第に思い通りに操縦できるようになり、楽しみながら学習することができました。

子どもたちは、先端技術の凄さや素晴らしいさを体験し、有意義な時間を過ごしていました。

三和地区推進協議会 先端技術体験学習

事務局 田人公民館 六九一二三六



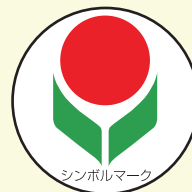
田人中学校のバドミントン部と地元サークルのはなまるクラブが、地域交流と技術向上を目的に、八月と十二月にバドミントン交流会を実施しました。

田人中学校は全校生徒がバドミントン部に所属していますが、中学校から始める生徒が大半です。そのため多くの経験を積む機会として、中学生同士のほか、サークルメンバーとペアを組んだり、いつもとは違う雰囲気の中、楽しく汗を流していました。

サークルの方々も、中学生の活気あふれるプレーに刺激を受けていました。

田人地区推進協議会 バドミントン交流会

回覧



青少年育成市民会議

いわき市青少年育成市民会議において、地区ごとに行っている青少年の健全育成に関する活動の一部を紹介します。

～生かそう、きずな。未来のために!～

事務局 川前公民館 八四二二〇三



六月二十五日(日)桶売中学校の校庭を会場に、「第八十六回川前地区市民球技大会」が開催されました。

川前地区内の六つの小・中学校は、児童生徒数の減少により、本年度末をもって全て閉校することとなり、今回、今回は閉校記念の一環として特別に桶売中学校の生徒・学校関係者・保護者で結成したチームにも参加してもらい、地域住民の皆さんと楽しく交流しました。

当日は天気にも恵まれ、ソフトボールは四チームのトーナメント戦で試合を行い、参加した生徒も大活躍して熱戦を繰り広げ、参加者は心地よい汗を流していました。

川前地区推進協議会 川前地区市民球技大会

事務局 久之浜公民館 八二二二六五



八月三日(木)久之浜第一小学校体育館にて、夏休み子ども教室を開催しました。交通安全教室では、いわき中央警察署の鈴木さん、久之浜駐在所長の前田さんから、交通状況判断のお話があり、参加者は教材の「渡り上手君」を使用した体験学習をしました。

次に、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた「スイカ割り」を五年ぶりに開催しました。保育所、子ども園、久之浜第一・第二小学校から百名以上の参加者があり、友だちを応援する大歓声が館内にひびき渡りました。スイカを館内で食べる方々、園に運んで食べる方々等様々でしたが、皆一様に、甘いスイカに笑顔いっぱい、楽しいひと時を過ごしていました。

久之浜・大久地区推進協議会 夏休み子ども教室

事務局 中央公民館 二二一五四三



八月十日(木)「みんなで環境を考えよう!」をコンセプトに、「風力発電所とコミュニティ福島体験学習ツアー」を実施し、小学四～六年生四十二人が参加しました。

風力発電所「ユーラス滝根小白井ウインドファーム」では、風車の羽根に触って、そのしなやかさを実感、羽根の形の開発過程にも興味を示していました。

「コミュニティ福島」では、復興へ向かうふくしまのあゆみや新しいエネルギー、自然と共生する社会など、持続可能なくらし方などについて楽しく学びました。

平地区推進協議会 体験学習ツアー

市民会議総会・表彰

令和五年度いわき市青少年育成市民会議総会を、五月二十五日(木)に文化センターで開催しました。

今回は、五月八日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが二類相当から五類に変更され、四年ぶりに集合型での開催となりました。今年度の努力目標や事業計画等を決定したほか、本市の青少年健全育成に寄与された個人三人に対し、表彰状の授与を行いました。

【市民会議表彰受賞者紹介】(敬称略)

- 中條サタ子 (勿来)
- 遠藤トモ子 (内郷)
- 外山 浩 (四倉)

福島県青少年健全育成条例に基づく知事表彰

受賞者紹介(敬称略)

- 青少年育成者 横山 隆俊 (いわき南地区少年警察ボランティア協会)

福島県青少年育成県民会議会長表彰

受賞者紹介(敬称略)

- 青少年指導者 馬上一 幸彦 (いわき南地区少年警察ボランティア協会)
- ・佐藤 江美 (ガールスカウト福島県連盟)

○青少年健全育成成功者の部 宮崎 誠志 (いわき中央地区少年警察ボランティア協会)

第十六回いわき市青少年育成大会

八月二十六日(土)市文化センターにて、市教育委員会と市少年指導員連絡協議会との三者共催により、開催しました。

今年は、五月の新型コロナウイルス感染症五類移行を受け、学生の意見発表の人数をコロナ禍前に戻し、小中高生が自身の体験から得た学びや気づき等を力強く発表し、参加者は熱心に聞き入っていました。また、青少年の地域活動を積極的に支援するため、高校生六人、大学生一人の青少年ボランティアを受け入れ運営しました。

記念講演は、スクールネットワークアドバイザー赤木聡さんが「子どもたちをネットトラブルや犯罪から守るために」と題し、近年急速に拡大しているネット犯罪やLINEでのトラブルなどから子どもたちを守るための保護者の心構えについて、実例を交えながら説明していただきました。

いわきメディア指導員事業

市民会議では、子どもたちとその保護者に対し、インターネット等のメディアの正しい使い方を啓発することを目的に、「いわきメディア指導員」を養成し、学校・公民館・地域で行う講習会等に派遣しています。

子どもたちを有害情報や犯罪被害から守るため、どうぞご活用ください。

【お問い合わせ先】生涯学習課青少年係 電話 一二一七五五八

令和五年度編集委員名簿

委員長	川前 永裕
委員長	石川 弘子
委員長	吉田 幸男
委員長	坂本 至子
委員長	佐藤 幸子
委員長	森田 道子
委員長	小堀 美亨
委員長	倉本 廣美
委員長	野村 三秀
委員長	川口 秀一
委員長	小川 光行
委員長	和田 光幸
委員長	三好 光幸
委員長	好間 光幸
委員長	小川 光幸
委員長	遠藤 光幸
委員長	内田 光幸
委員長	常盤 光幸
委員長	勿来 光幸
委員長	小名 光幸
委員長	平本 光幸
委員長	多田 光幸
委員長	冬野 光幸

編集発行

いわき市青少年育成市民会議事務局
いわき市教育委員会事務局
生涯学習課
千九七〇・八〇二六
いわき市平字堂根町四一八
いわき市役所東分庁舎四階
電話 二二一七五五八

事務局 小名浜公民館 五四―一八九〇



江名支部では「青少年絵手紙コンクール」を毎年実施し、今年度で十七回目となりました。

江名地区の小・中学校三校から四百五十一作品の応募があり、一〇月四日(水)に江名支部役員十三人で審査を行い、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部の三部門ごとに最優秀賞、優秀賞、優良賞を決定し、江名公民館まつりに展示後、入賞者には賞状と記念品を贈呈しました。

また、入賞した十五作品のポスターを作成し、江名地区の小・中学校や各関係機関へ掲示していただきました。

事務局 植田公民館 六三―三四六七



事務局 常磐公民館 四三―一三〇五



錦支部では十二月十日(日)に錦公民館を会場に地域の小学生三十五名が参加して「年末行事を地域のみなさんと楽しもう」を開催しました。

午前中は、段ボール工作と写真立てづくりです。中高生のボランティアの支援を受けて上手な作品が出来上がりました。

お昼は、杵と臼での餅つき体験。おいしくつきあがった餅は、家庭部会の皆さんがお雑煮やきな粉餅、あんころ餅に。子どもたちは、何度もお代わりをしていました。

午後は体育館で、レクリエーション。子どもたちは、地域の皆さんに見守られながら、楽しい年末の時間を過ごしました。

事務局 内郷公民館 二六―一九七四



八月九日(水)に小・中学生を対象にしたジュニア化石体験隊を実施しました。

定員を大幅に超える四十三人が参加し、午前中は、公民館で「コハクのアクセサリー作り」を体験、お昼は、新舞子ハイッで楽しみの一つだった唐揚げ定食をワイワイと食べました。午後は、アンモナイトセンターで発掘体験を行い、アンモナイトやサメの歯などの化石を発掘した子どもたちからは、大きな歓声があがっていました。

今後、子どもたちに好奇心をもってもらえる体験活動を積極的に実施していきます。

小名浜地区推進協議会 青少年絵手紙コンクール

勿来地区推進協議会 年末行事を地域のみなさんと楽しもう

常磐地区推進協議会 青少年育成に関する標語

内郷地区推進協議会 古代のロマンを発掘

事務局 四倉公民館 三二―二九二〇



今年も「夏休み体験教室」が、八月八日(火)と十七日(木)の二回に分けて開かれ、四倉小・大浦小の小学生二十二人が参加しました。体験したのは、デコパージュで模様をつけたエコバッグ作りです。講師は瓜田弘子先生でした。

デコパージュとは、イラストが入った紙を切り抜き、布や家具などに貼って、表面をコーティングする技法です。子どもたちは、色とりどりの紙ナプキンから好きな模様を切り抜いて、無地の布バッグに並べ、デコパージュ専用液でコーティングして、素敵なエコバッグを完成させていました。

四倉地区推進協議会 楽しいデコパージュ体験

事務局 上遠野公民館 八九―二〇五九



夏休み期間中の八月二日(水)に、上遠野公民館において、遠野和紙を使ったオリジナルうちわ作りを開催し、上遠野・入遠野小学校の児童十一人が参加しました。

地域おこし協力隊、遠野和紙楮保存会、いわき湯本高等学校遠野校舎のボランティア生徒の皆さんによるサポートで、貼り絵や水彩画、筆文字などの技法から、各自興味の赴くままに好きな画材を選んで、意欲的に創作活動を楽しみました。お昼には、上遠野婦人会の皆さんが調理したカレーライスをみんなで食べて、有意義な一日を過ごしました。

遠野地区推進協議会 遠野和紙のオリジナルうちわ作り

事務局 小川公民館 八三―二二六八



季節の行事を通して、世代間の交流を深め地域のつながりを強めようと昨年から始めた「おがわ七夕飾り」を今年は「おがわ七夕まつり」と名称を変え、七月三十日(日)に、七夕飾りのほかにピアノ演奏・縁日コーナー・出店・小川地区の子どもじゃんがら・大人のじゃんがら(二団体の披露など)を小川郷駅前及び周辺道路で行いました。

七夕飾りでは、今年は中学生も参加し、小川地区の子どもたち約六百人が事前に願い事を記入した短冊を家族みんなで楽しみながら八本の竹に飾り、願いことばの七夕飾りを設置することができました。

小川地区推進協議会 おがわ七夕まつり

事務局 好間公民館 三六―二〇五〇



七月二十六日(水)に好間公民館料理実習室にて、第十六回おやこ体験教室「親子でそば打ち体験」を開催しました。

親子七組十四人が参加し、「好間そば塾」の四名の講師の指導を受け、そば粉を打って生地を作り、包丁で切って麺にしました。子どもたちにとっては初めてのことでしたが、慣れない手つきでも一生懸命親子で頑張り、自分で作ったそばを持ち帰りました。

そば打ちという伝統文化の体験をとおし、親子の触れ合いを深めることができました。

好間地区推進協議会 親子でそば打ち体験！